令和６年度　「志教育」全体計画

様式１

宮城県名取高等学校

校　訓

真善美への感動と実践

本校の教育目標

人格の完成をめざし、下記の目標を設定して教育に当たり、国家社会の有為な人材を育成する
・自己理解と社会認識を深め、積極的な学習を奨揚する
・公徳心を涵養し、規律を重んずる習慣を養う
・情操豊かで心身ともに健康な生徒の育成に努力する

生徒の実態、教師の願い

・半数程がアルバイトをしている。基礎学力の定着などに課題があり授業に集中できない生徒もいる。
・社会人として望ましい基礎学力を固め、集団生活において自他を尊重するとともに他者と協調する姿勢を持って欲しい。

保護者や地域の願い

・学業と勤労を両立させながら充実した生活を送って欲しい。
・学校生活と職場から、豊かな社会性を身に付けて欲しい。
・目標を持って元気に生活し、自己実現と進路達成に努めて欲しい。

「志教育」の目標

・他者や自己の良さを認め、良好な人間関係を築き、有意義な高校生活を送らせる。
・社会の一員としての自己を認識し、自分がどのような形で社会貢献できるかを考え、行動できるようにする。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
学校行事、LHR、部活動、アルバイト等の就労体験を通して、人間関係の大切さを理解させ、信頼し合える集団作りに努める。	授業を大切にする姿勢を確立させ、知識や技能を得ることが自己実現や社会参画への一歩となることを理解させる。また、就労経験を通して自分の適性について考え、職業と学習との関わりを考えさせる。	HRでの役割分担を責任を持って果たすように指導し、集団の中の一員である自覚を促す。就労によって、社会の中での自分の立場を意識して行動することを学び、自分が必要とされていることに誇りを持たせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	・学習規律を徹底し、望ましい学習態度や習慣を身に付けさせる。 ・土台となる基礎学力をより確実なものとさせる。 ・周囲への影響を考慮した言動をとり、授業に意欲的に臨む姿勢を育てる。
道徳	・学業と勤労の両立に向けて、望ましい学習習慣や勤労観を育成する。 ・社会人としての自覚と規範意識、責任ある行動を身に付けさせる。 ・集団生活において、自他の尊重と協調性を養わせる。
総合的な探究の時間	・自己理解を深め、目標設定のための下地を作らせる。 ・目標を持ち、その達成に向けて努力する方法を考えさせることで、よりよい学習習慣の確立を目指す。 ・進学や就職に関連した内容を取り扱うことで、社会で必要な知識や能力を身に付けさせ、自己の伸長を図る。
特別活動	・集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする、自主的・実践的な態度を育てる。 ・集団での他者との関わりにおいて、互いを尊重する姿勢を育む。
その他	・日常の生活を通して他者との協働、自他の尊重の意識を育てる。 ・学業と勤労の両立を通して自律の精神を養うとともに、自己肯定感を育てる。

各学年の取組内容

1年	①新年度全学年オリエンテーション ②進路適性検査「自己理解調査」 ③ハローワーク見学会 ④卒業生や社会人講師による進路講話・講演会 ⑤生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑥SCによるソーシャルスキルトレーニング ⑦SSWによるライフプラン講座
2年	①新年度全学年オリエンテーション ②進路適性検査「学校生活調査」 ③卒業生や社会人講師による進路講話・講演会 ④生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑤SCによるソーシャルスキルトレーニング ⑥外部講師によるライフプラン講座
3年	①新年度全学年オリエンテーション ②進路適性検査「就職性格検査」 ③卒業生や社会人講師による進路講話・講演会 ④生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑤進路ガイダンス ⑥NIE（新聞を活用した学習活動） ⑦SCによるソーシャルスキルトレーニング
4年	①新年度全学年オリエンテーション ②進路適性検査「職業適性検査」 ③卒業生や社会人講師による進路講話・講演会 ④生活体験発表会（校内大会・県大会） ⑤就職進学模擬面接会 ⑥研修旅行 ⑦入社準備セミナー ⑧SCによるソーシャルスキルトレーニング

家庭との連携

・保護者との情報共有を積極的に行い、生徒の人格の完成を目標に保護者と教職員が一体となって指導する。

地域･企業との協働

・定時制育成会（地域の事業主と保護者及び教員から成る支援団体）の協力を得て、講演会や就職模擬面接会を通して社会との関わりを意識・理解する。